

森林環境教育 現状など報告

プログラム整備へ検討委

近畿中国森林管理局

近畿中国森林管理局・箕面森林環境保全ふれあいセンター（秋岡陽一郎所長）の「森林環境教育プログラム等検討委員会」がこのほど、京都市の近畿農政局で開かれた。子どもの発達段階や活動の場に応じた体系的な森林環境教育プログラムを整備するための基本的な方針などを確認した。

同委員会は教育関係者や森林環境教育を主な活動とするボランティア、教育行政担当者ら九人で構成。今回が初会合で、委員長には甲南大教授で日本環境教育学会関西支部長の谷口文章氏を選任し、事務局が森林環境教育の活動状況や問題点を報告した。

委員からは「森林環境

教育では何を見せ、何を考えさせ、どのような行動をさせるかをコンセプトに実践していくことが重要」「森林や木の文化



体系的な森林環境教育プログラムを整備するために設置された検討委員会の初会合

をとらえたプログラムが必要」などの意見、要望が出た。

事業期間は二〇〇五～〇七年度の三カ年。同センターでは委員会の意見を踏まえ、〇六年度は子ども・若者用の森林環境教育プログラム作成に向けて取り進む。それ以外のプログラムは〇六、〇七年度に整備する予定。